

施策評価シート （評価対象年度：平成30年度）

1. 基本的事項

| | | | |
|-------------------|--|--------|------|
| ① 施策名〔施策小〕 | 1 コミュニティ活動の促進 | ② 施策番号 | 4212 |
| ③ まちづくりの方向〔政策(章)〕 | 6 みんなでまちづくりに取り組むまち | | |
| ④ 基本施策〔施策大(節)〕 | 1 市民が力をあわせるとともに、行政とともにまちづくりに取り組む参画と協働のまちをめざします | | |
| ⑤ 基本的方向〔施策中〕 | 2 地域コミュニティづくりの推進 | | |
| ⑥ 担当部名 | ⑦ 担当課名 | | |
| 健康福祉部 | 保健推進課 | | |

2. 施策の現状把握

〔1〕施策の対象・意図

| | |
|--|---|
| ① 施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか) | エイフボランタリーネットワーク会員及び団体 |
| ② 意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか) | エイフボランタリーネットワーク会員及び団体に対し、エイフ活動が円滑にいくよう支援する。 |
| ③ 環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか) | エイフ等の市の自主グループ等の地域活動団体により、地域全体での健康づくりの課題に取り組んでいく必要がある。地域住民と公的な関係機関の協働による包括的な支援体制づくりを進める「我が事・丸ごと」地域共生社会の実現に向けた取り組みにも、この地域活動が必要とされている。 |

〔2〕施策指標及び推移

| 施策指標(成果指標) | 単位 | 指標とした理由・考え方 |
|-------------------------------|----|----------------------------|
| ① エイフボランタリーネットワーク 会員数 計算式 | 人 | 会員数の増加が、エイフ活動を活性化し、地域力となる。 |
| ② エイフボランタリーネットワーク 活動日数 計算式 | 日 | |
| ③ 計算式 | | |

| | 指標名 | 単位 | H28実績 | H29実績 | H30実績 | R1見込 | R2目標 | 備考 | |
|---|----------------------|----|-------|-------|--------|------|------|--------|-----|
| | | | 目標値 | 実績値 | 達成率 | 目標値 | 実績値 | | 達成率 |
| ① | エイフボランタリーネットワーク 会員数 | 人 | 159 | 157 | 98.7% | 159 | 161 | 101.3% | |
| | | | 163 | — | — | 165 | — | — | |
| | | | — | — | — | — | — | — | |
| ② | エイフボランタリーネットワーク 活動日数 | 日 | 32 | 33 | 103.1% | 32 | 33 | 112.1% | |
| | | | 38 | — | — | 38 | — | — | |
| | | | — | — | — | — | — | — | |
| ③ | | | 目標値 | 実績値 | 達成率 | 目標値 | 実績値 | 達成率 | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

〔3〕施策を構成する事務事業

| | 事務事業名 | 成果指標 | | | | | 総事業費(千円) | | | 事務事業評価結果 | | 重点化 |
|---|------------------------|------|----|-------|-------|------|----------|-------|------|----------|-------|-----|
| | | 指標名 | 単位 | H29実績 | H30実績 | R1見込 | H29実績 | H30実績 | R1見込 | 総合評価 | 今後の方針 | |
| 1 | 泉南市エイフボランタリーネットワーク補助事業 | 会員数 | 人 | 161 | 155 | 156 | 514 | 517 | 514 | A | ア | ○ |
| 2 | | | | | | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | | | | | | |
| 7 | | | | | | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 1 | | | | | | 514 | 517 | 514 | | | |

3. 施策の評価

| 評価の視点 | 説明・コメント等 |
|--|---|
| ①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。) | 今後「協働のまちづくり」を進めていく上で、エイフ活動を支援することは、地域コミュニティづくりを推進することである。 |
| ②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。) | エイフ活動を支える会員数が減少しているため、今後は新規会員を募集し、安定的な会員確保が必要である。 |
| ③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。) | エイフ活動は、女性の組織力を結集し、市民の健康づくり、地域の環境づくり、まちづくりの実践活動を推進している。市は、地域の組織力と連携していくことが、地域の健康づくりに重要である。 |
| ④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。) | エイフボランティアネットワークの活動そのものが、地域のコミュニティを形成するものであり、その団体を支援する本事業は適正である。 |
| ⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。) | 自分や家族、地域の健康に関心を持ち、少子高齢社会において健康に関する様々な問題に対応できる地域づくりの担い手として地域と行政のパイプ役として活動する、エイフ活動の支援は今後も必要である。 |

4. 一次評価(所管課評価)

| | 評価(A~D) | 課題等 | A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある |
|------|---------|--|---|
| 一次評価 | B | 楽しく健康教室やがん検診等に参加し、世代を越えた仲間と活動を行い、地域の健康づくりにつながるよう、「健康せんなん21・第2次計画」に基づき、エイフ活動が継続できるよう支援することが重要である。 | |

5. 改革、改善案

| | |
|-----------------------------|---|
| 即時的対応 (すぐに取り組む改善案) | 会員の確保に向けて、ホームページ・広報等で会員の活動状況を発信し、会員の応募を募る。 |
| 短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案) | 地域の婦人会が消滅の一途をたどっている現実があり、世の中の流れ、市民のニーズも変化し、新たな発想を組み入れた活動が必要である。エイフ及び婦人会の組織目的や参加意義・必然性など、会員同士が再度確認できるよう支援することが重要である。 |
| 中長期的対応 (3~5年をめどに取り組む改善案) | エイフ役員連絡会等で、でてきた課題にタイムリーに対応し、エイフ活動を継続的に支援する。 |

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

| | 評価(A~D) | 課題等 | A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある |
|------|---------|--|---|
| 二次評価 | B | 活動を担う団体の会員数については、一時的に減少したものの、近年は現状維持となっている。引き続きコミュニティ活動の促進のため継続支援により会員数増へ向けた取組を進められたい。 | |